## Office2007 VLOOKUP関数使用方法

-	A	В	С	D	E
1	番号	教科	受講料(1時間)	受講料(1時間出張)	
2	1	ワード	1500円	3000円	
3	2	エクセル	1500円	3000円	
4	3	バワーポイント	2000円	3500円	
5	4	アクセス	4000円	6000円	
6	5	フォトショップ	4000円	6000円	
7	6	イラストレーター	5000円	7000円	
8	7	CAD	5000円	7000円	
9	8	ドリームウィーバー	4000円	6000円	
10	9	HPビルダー	3500円	5000円	
11	10	FLASH	5000円	7000円	
12	11	ファイヤーワークス	5000円	7000円	
13					

1.入力したら、セル 範囲を指定して、 右クリック

	6			配置		Di la	数値
j	<b>f</b> ∡ 番号		MS P <u>j</u> ʻ 🗸	11 🚽	A A 🦉 - 🤆	% , 🛷	
	С		BI		👌 - A - 🞲	.00 -a+	G
	受講料(1時間)	受請	977 \ 1 0716	· · · · ·			
	1500円			( 💷	(U)綿佳1		
	1500円			( 🗔	上罫線(P)		
	2000円				左罫線(L)		
	4000円			6 ggg	右罫線(R)		
	4000円			E	44 4.1 (A)		
	5000円				秤なし(N)		
	5000円				格子( <u>A</u> )		
	4000円			6	外枠( <u>S</u> )		
	3500円			1 EU	外枠太罫線(T)		
	5000円						
	5000円			- 🔛	ト二重新線(B)		
					( <u>H</u> )線霍太不		
					上罫線 + 下罫線	(D)	

2.ミニツールバー が表示されるの で、罫線から格 子をクリック。

	A B		С	D	E
1	番号	教科	受講料(1時間)	受講料(1時間出張)	
2	1	ワード	1500円	3000円	
3	2	エクセル	1500円	3000円	
4	3	バワーボイント	2000円	3500円	
5	4	アクセス	4000円	6000円	
6	5	フォトショップ	4000円	6000円	
7	6	イラストレーター	5000円	7000円	
8	7	CAD	5000円	7000円	
9	8	ドリームウィーバー	4000円	6000円	
10	9	HPビルダー	3500円	5000円	
11	10	FLASH	5000円	7000円	
12	11	ファイヤーワークス	5000円	7000円	
13					

В	С	D	Е	F	G	Н	Ι
<u>教科</u>	受講料(1時間)	受講料(1時間出張)					
	1500円	3000円				_	
	1500円	3000円		1		<u> </u>	
イント	2000円	3500円					
	4000円	6000円					
ップ	4000円	6000円					
,ニカニ	5000 <b>m</b>	7000円					

E	F	G	Н	Ι
	1	,	Į	

## 3.任意のセルをアクティブ にし、数式から、関数の 挿入をクリック。



I	関数の挿入
	関数の検索(S):
	何がしたいかを簡単に入力して、「検索開始」をクリックしてください。 検索開始(G)
L	関数の分類( <u>C</u> ): すべて表示 ▼
	関数名( <u>N</u> ):
	VARPA VDB
	VLOOKUP WEEKDAY
	WEEKNUM
	WORKDAY
	VLOOKUP(検索値,範囲)列番号,検索方法) 指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返しま す。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。
	<u>この関数のヘルプ</u> OK キャンセル

4.関数の挿入ダイ アログが表示され るので、
VLOOKUP を選ぶ。

	A	В	С	D	
1	番号	教科	受講料(1時間)	受講料(1時間出張)	
2	1	ワード	1500円	3000円	
3	2	エクセル	1500円	3000円	
4	3	バワーポイント	2000円	3500円	
5	4	アクセス	4000円	6000円	
6	5	フォトショップ	4000円	6000円	
- 7	6	イラストレーター	5000円	7000円	
8	7	CAD	5000円	7000円	
9	8	ドリームウィーバー	4000円	6000円	
10	9	HPビルダー	3500円	5000円	
11	10	FLASH	5000円	7000円	
12	11	ファイヤーワークス	5000円	7000円	
13					

関数の引数	8 ×
VLOOKUP	
検索値	F3 📧 = 1
範囲	\$A\$2:\$D\$12  (1."ワード"."1500円"."3000円":2."エクセノ
列番号	2 💽 = 2
検索方法	false 💽 = FALSE
指定された範囲の 1 列目で特定 必要があります。	= "ワード" 定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく
	検索方法 (には検索値と完全に一致する値だけを検索するか、その近似値を含めて検索す るかを、論理値(近似値を含めて検索 = TRUE または省略、完全一致の値を 検索 = FALSE)で指定します。
数式の結果 = ワード	
<u>この関数のヘルプ(H)</u>	OK キャンセル

検索値	F3 💽	=	1
範囲	\$A\$2:\$D\$12	=	{1."ワード"
列番号	2	=	2
検索方法	false 💽	=	FALSE
		=	"ワード"

5.検索値にF3、範囲に\$A\$2:\$D\$12、列番号に2、検索方 法にfalseと入力する。



6.G3のセルにワードと入力されました。

7.検索値とは、F3のセルの番号1のことです。
範囲とは、A2セルから、D12セルまでのことです。
\$マークで、挟まれているのは、絶対参照で、セル範囲を固定することを指します。絶対参照は、F4キーで、設定できます。(範囲を選択してからF4キーを押すと、上記のように表示される。)
絶対参照とは、ここから、ここまでのセル範囲を絶対的に参照する(固定する)という意味があります。
(※反対に相対参照という言葉もあります。)
列番号に2を入力したのは、教科の列が、番号の列より、2番目にあるからです。
検索方法にfalseを入力したのは、検索値が完全に一致するデータがある場合データが抽出されるために、入力しました。(False=0でも、OKです。エラー値の場合、[#N/A]が戻り値として返されます。)

8.それでは、実践問題として、列3番目の授業料(1時間出 張)の値を関数を用いて、値を出してみましょう。

検索値	F3	<b>K</b>	Ξ	1
範囲	\$A\$2:\$D\$12	6	Ξ	{1, <sup>~</sup> ワード <sup>~</sup> . <sup>~</sup>
列番号	3	5	Ξ	3
検索方法	false	<b>K</b> ]	=	FALSE
			=	″ 1500円″

9.以上が、答えになります。

検索値・範囲・検索方法は先ほどと一緒ですが、列番号だけは、番号の列から、3番目の列を参照するので、3と入力します。



10.H3に1500円と表示されました。

11.次に、F3に2、3、4、5、6、7、8、9、10、11と入力してみ ま

しょう。

E	F	G	Н	Ι
	2	エクセル	1500円	

E	F	G	Н	Ι
	7.	CAD	5000円	

12.このように表示されました。

13.お分かりですか、VLOOKUP関数とは、検索するため

の関数なのです。